

遊びの実践的発達研究法としてのプレイシヨップ

- その理論的視座と研究事例 -

企画者	立教大学	石黒 広昭
司会者	立教大学	石黒 広昭
話題提供者	立教大学	石黒 広昭
話題提供者	北海道大学	藤野 友紀
話題提供者	拓殖大学	内田 祥子
話題提供者	横浜市南部児童相談所	長谷川 まどか #
話題提供者	大阪府立大学	泉 千勢

このワークショップでは、KODOMO project が 2003 年度から実施している遊びの連続的ワークショップであるプレイシヨップで行われた発達研究を紹介する。プレイシヨップとは、幼稚園の放課後預かり保育の時間に、大人と子どもが共に Play-world を創造することを目指した実験的遊び活動である。幼稚園と大学研究室が準備から実施、反省まで共同して行い、子どもの発達を支援する遊び設定条件の探求と遊びを通じた参加者の発達を研究してきた。こうした方法はヴィゴツキーらの実験的形成法を継承し、遊び活動に対する多様な関与によって、参加者の発達を引き起こす条件を探る所に特徴がある。今回のワークショップではプレイシヨップがどのような実践構造をもっているのか、プレイシヨップの中でどのように子どもの遊びの発達が研究されてきたのか、その理論と方法を紹介する。発達研究法としての形成実験的アプローチの意義と課題を議論したい。(<http://www.rikkyo.ne.jp/grp/kodomoproject/>)